

文科省の「地域協働事業」

三国、科技高指定校に

文部科学省の本年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定校に、県内から三国、科技技術の両校が選ばれた。地域活性化のプロジェクトの実践や行政、企業、地域が一体となって福井の工業をけん引する技術者を育成する。期間は2022年度までの3年間。

推進事業は、地域課題の解決など探求的な学びを実現する取り組みを推進し、地域振興の核としての高校

の機能強化を図ることが目的。昨年度から始まった。

三国高は、地域ならではの新しい価値を創造する人材を育成する「地域魅力化型」、科技技術高は地域の産業界などとの連携・協働による実践的な職業教育を推進する「プロフェッショナル型」の指定校に選ばれた。

全国から地域魅力化型には37件、プロフェッショナル型には39件の応募があった。(牧野将寛)